

平成 2 3 年度

川崎市予算案のポイント

平成 2 3 年 2 月

目 次

	ページ
漸進工夫予算ー新たな飛躍に向けてー	1
予算案の概要	
Ⅰ 各会計予算規模	2
Ⅱ 一般会計歳入	2
Ⅲ 一般会計歳出 (性質別)	3
予算案のポイント	4
一般会計のプライマリーバランス及び市債残高の推移	10
中長期的なまちづくりの方向性 「4つの『～化』」	11
経済・雇用対策への対応	12
重点的・戦略的に取り組む施策の展開	
人間都市かわさき	13
安心快適都市かわさき	16
元気都市かわさき	17
安定持続都市かわさき	19
オンリーワン都市かわさき	20

川崎市 平成23年度一般会計予算案のポイント

～ 漸進工夫予算 ～ －新たな飛躍に向けて－

- ◎ 平成23年度の予算編成は、「川崎再生フロンティアプラン・第3期実行計画」、「新たな行財政改革プラン」及び「財政フレーム」の策定作業と連携しながら、厳しい社会経済環境にあっても、市民生活の安定をしっかりと確保するという地方自治体の責務を果たすとともに、都市経営の視点に立ったうえで、計画事業を一層推進することにより、142万市民がいきいきと心豊かに暮らせるよう、次の点を基本に編成を行いました。
 - ①子育て環境の整備や雇用対策などを重視した予算配分
 - ②自治基本条例に基づき市民本位のまちづくりに向けた取組を一層推進
 - ③行財政改革の取組を確実に反映
- ◎ 平成23年度予算は、直面する社会経済環境に対応し、市民生活の安全・安心をしっかりと確保した上で、将来にわたり市民サービスを安定的に提供できるよう、様々な工夫により一歩ずつ着実に進んでいく予算であるという意味を込めて、「漸進工夫予算」としました。

川崎市 平成23年度予算案の概要

I 各会計予算規模

会 計 名	平成23年度予算	平成22年度予算	増減率
一 般 会 計	6,180億2,238万円	6,116億7,177万円	1.0%
特別会計(13会計)	4,848億7,514万円	4,433億 107万円	9.4%
企業会計(6会計)	2,214億6,648万円	2,124億1,844万円	4.3%
合 計	1兆3,243億6,402万円	1兆2,673億9,129万円	4.5%

※万円未満切り捨て。合計欄の予算額と各会計の予算額の合計は一致しません。

II 一般会計 歳入

(単位:百万円・%)

区 分	平成23年度		平成22年度		比 較	
	予 算 額	構成比	予 算 額	構成比	増 減 額	増 減 率
市 税	279,584	45.2	272,726	44.6	6,858	2.5
地 方 譲 与 税	3,075	0.5	3,037	0.5	38	1.2
交 付 金	17,084	2.7	16,805	2.8	279	1.7
地 方 特 例 交 付 金	3,386	0.5	3,539	0.6	△ 153	△ 4.3
地 方 交 付 税	514	0.1	615	0.1	△ 101	△ 16.4
国 庫 支 出 金	109,518	17.7	93,444	15.3	16,074	17.2
県 支 出 金	18,933	3.1	16,740	2.7	2,193	13.1
財 産 収 入	4,631	0.8	14,837	2.4	△ 10,206	△ 68.8
繰 入 金	32,362	5.2	24,046	3.9	8,316	34.6
市 の 債	76,584	12.4	81,928	13.4	△ 5,344	△ 6.5
そ の 他	72,351	11.8	83,955	13.7	△ 11,604	△ 13.8
合 計	618,022	100.0	611,672	100.0	6,350	1.0

Ⅲ 一般会計 歳出 (性質別)

(単位:百万円・%)

区 分	平成23年度		平成22年度		比 較	
	予 算 額	構成比	予 算 額	構成比	増 減 額	増 減 率
義 務 的 経 費	319,516	51.7	307,108	50.2	12,408	4.0
人 件 費	102,001	16.5	104,119	17.0	△ 2,118	△ 2.0
扶 助 費	140,898	22.8	127,062	20.8	13,836	10.9
公 債 費	76,617	12.4	75,927	12.4	690	0.9
投 資 的 経 費	98,684	16.0	95,413	15.6	3,271	3.4
補 助	49,609	8.0	44,362	7.3	5,247	11.8
単 独	49,075	8.0	51,051	8.3	△ 1,976	△ 3.9
そ の 他	199,822	32.3	209,151	34.2	△ 9,329	△ 4.5
合 計	618,022	100.0	611,672	100.0	6,350	1.0

※1 生活保護扶助費 (510億円→570億円 21,565世帯→22,985世帯)

※2 子ども手当 (261億円→323億円 13,000円/1人、4月分からは3歳未満20,000円/1人)

予算案のポイント

平成23年度予算の考え方に基づき編成された予算案の主なポイントとして次の5つを紹介します。

	ページ
I 市税収入は昨年度のかつてない落ち込みからは回復	5
II 厳しい社会経済状況の中、減債基金から新規借入れを計上	6
III 市民生活の安全安心を確保したうえ、一步ずつ着実に前進	7
IV 行財政改革の取組	8
V 財政健全化に向けた取組	9

ポイントⅠ 市税収入は昨年度のかつてない落ち込みからは回復

- 企業収益の回復により法人の市民税が増となるなど、69億円、2.5%の増
昨年度のかつてない落ち込みからは回復したものの、それ以前の水準には戻っていません。

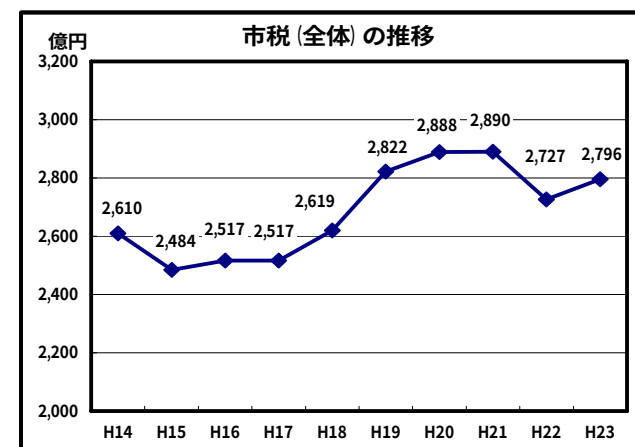
※平成22年度当初予算における市税収入は、対前年度で163億円、5.6%の減

(単位:百万円)

	H22	H23	増	減
市税	272,726	279,584	6,858	2.5%
市民税	120,138	126,040	5,902	4.9%
個人	108,872	108,914	42	0.0%
法人	11,266	17,126	5,860	52.0%
固定資産税	113,041	113,746	705	0.6%

[参考] 地方財政対策の対前年度伸び率 (単位:億円)

	H22	H23	増	減
市町村税	195,870	199,085	3,215	1.6%
道府県税	129,226	134,952	5,726	4.4%



ポイントⅡ 厳しい社会経済状況の中、減債基金から新規借入を計上

○ 減債基金からの108億円の新規借入れ

行財政改革の取組を進めるものの、依然として厳しい社会経済状況の中、収支不足が見込まれましたが、増加する生活保護扶助費へ対応するとともに、市民生活の安定のため、保育受入枠の拡大などを継続して行っていく必要があることから、新たに108億円の減債基金からの新規借入を計上したものです。

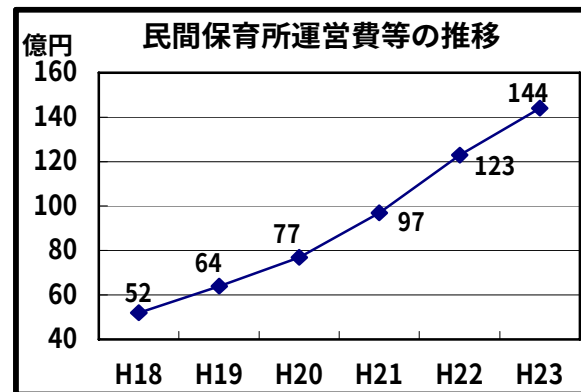
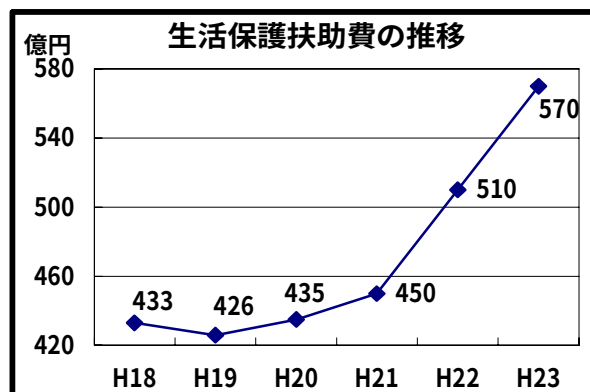
※ [減債基金残高見込] 平成22年度末 1,306億円

【参考】 減債基金借入金の前算計上の推移

(単位:億円)

	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23
予算額	79	33	98	150	150	100	0	150	108

【参考】 生活保護扶助費等の推移 (当初予算ベース)



※左は民間保育所運営費等の扶助費のみですが、保育所整備費等を含む「多様な保育の充実」にかかる予算額は230億円で、対前年度43億円の増となっています。

ポイントⅢ 市民生活の安全安心を確保したうえ、一步ずつ着実に前進

＜市民生活の安全・安心を確保するサービスを安定的に提供＞

- 特別養護老人ホームの整備促進
- 多様な保育の充実
- 子宮頸がん等ワクチン接種の実施
- 救急体制の強化と救急医療体制の整備
- 経済・雇用対策の推進

＜川崎に住んでいる人が幸せを実感できるよう一步ずつでも前進＞

- 殿町3丁目地区国際競争拠点の形成
再生医療・新薬開発共同研究センター（23年7月運用開始予定）
仮称産学公民連携研究センター（25年1月運用開始予定）
- ナノ・マイクロ産学官共同研究施設の整備
新川崎・創造のもり地区
- 大規模公園緑地の整備推進
富士見公園周辺地区（長方形競技場整備の実施設計等）
等々力緑地・周辺地区（等々力陸上競技場の整備計画の策定等）
生田緑地・周辺地区（生田緑地東口ビクターセンターの整備等）

※（ ）内は主な事業内容等、予算額（単位；百万円）

ポイントⅣ 行財政改革の取組

○改革の効果

- ・歳入の確保（債権確保策の強化など）
約 19億円
- ・歳出の見直し（職員数の削減、事業の見直しなど）
約102億円



改革の効果額 121億円

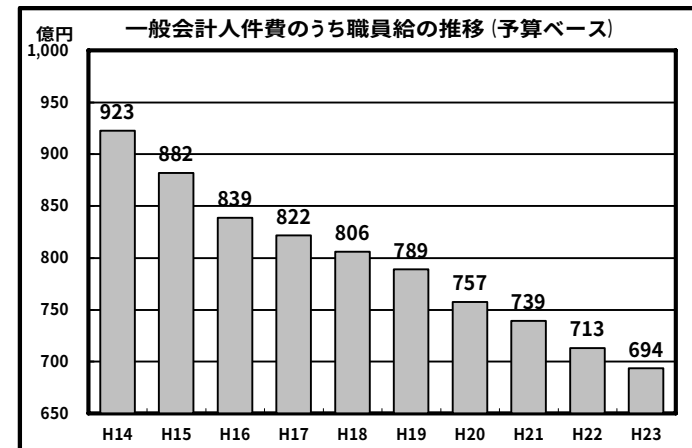
○改革効果の市民サービスへの還元

- ・これまでの還元施策を継続して実施
私立幼稚園園児保育料補助
学校トイレの快適化
水道料金の負担軽減等（企業会計） など



H18からの取組によるH23予算計上額 23億円
(一般会計のみ)

[参考] 職員給の推移



※予算定数 12,009
(今後3年間で600人（全任命）削減予定) ▶ 10,279

[参考] 学校トイレの快適化

- 平成21年度まで
26校60カ所の整備を完了
 - 平成22年度
8校28カ所の整備を推進中
(3月補正予算で11校37カ所追加)
 - 平成23年度
11校38カ所
- 平成22年度3月補正を含め
今後3年間で137カ所整備

ポイントⅤ 財政健全化に向けた取組

将来にわたって安定的に市民サービスの提供を行うため、新たな行財政改革プランに掲げる「財政フレーム」において、「平成26年度の収支均衡」を新たな目標として、改革の取組を継続し、持続可能な財政構造の構築に向け、計画的な行財政運営を行います。

財 政 フ レ ー ム

一般財源ベース
単位:億円

健全な財政構造の構築に向けた取組目標

目標 ① 平成26年度には減債基金からの新規借入れを行うことなく収支均衡を図る

目標 ② 継続的な収支均衡と安定的なプライマリーバランスの黒字の確保を図る

目標 ③ 資産マネジメント(資産保有量の最適化・施設の長寿化等)の推進や市債の適正な活用により将来負担の適切な管理を行う。

歳入フレーム(減債基金新規借入金を除く)

	H23予算	H24見込	H25見込	H26見込	H27見込
市税	2,796	2,809	2,832	2,857	2,868
地方譲与税	31	30	30	29	29
利子割交付金～軽油引取税交付金	171	170	165	172	179
地方交付税	5	5	5	5	5
市債	185	185	185	185	185
減債基金借入金(過年度分)	150	258	353	413	413
その他	156	123	142	142	117
歳入計 A	3,494	3,580	3,712	3,803	3,796

※平成24年度以降の市税等は、市民税においては個人・法人の別に人口動態や企業収益、物価上昇等の影響を見込むなど、各税目ごとに近年の動向を参考に算定

歳出フレーム

第3期実行計画期間内の計画事業費					
	H23予算	H24見込	H25見込	H26見込	H27見込
人件費	895	872	857	835	828
扶助費	443	469	487	503	520
公債費	722	684	716	714	728
投資的経費	175	177	177	175	175
減債基金借入金返還金	150	258	353	413	413
その他	1,217	1,250	1,241	1,220	1,189
歳出計 B	3,602	3,710	3,831	3,860	3,853

※人件費は、給与改定による影響を見込まずに算定

※人件費のうち退職手当は、退職予定者数を勘案して算定

※投資的経費のうち平成26年度以降は、過去の推移を基本に算定

減債基金からの新規借入れ C	108	95	60	0	0
----------------	-----	----	----	---	---

施策調整・事務事業の見直し等による要調整額 D=A-B+C	-	-35	-59	-57	-57
-------------------------------	---	-----	-----	-----	-----

※平成24年度以降の歳入歳出の額は、今後の精査により変動する可能性があります。

減債基金の状況見込み

	H23	H24	H25	H26	H27
減債基金年度末残高見込み E	1,187	1,377	1,519	1,685	1,877
うち一般会計借入見込額累計 F	258	353	413	413	413
G=E-F	929	1,024	1,106	1,272	1,464

行財政改革による対応額等の内訳

財源対策による対応

	H23予算	H24見込	H25見込	H26見込	H27見込
退職手当債の活用	27	27	27	27	27
行政改革等推進債の活用	90	90	90	90	90
国保会計繰出金の未計上	47	47	47	47	47
財源対策計 H	164	164	164	164	164

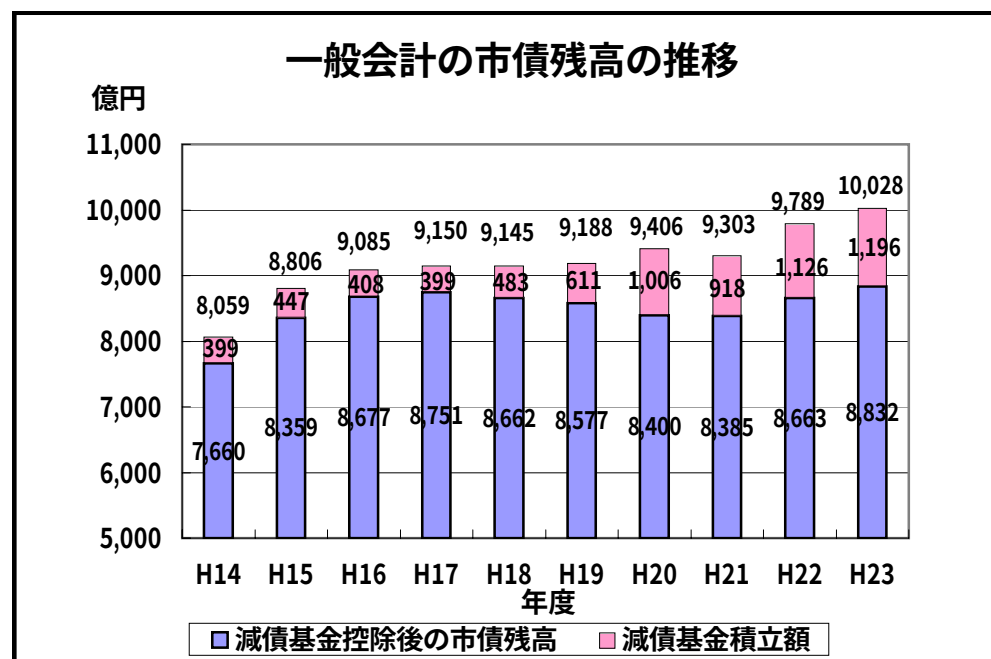
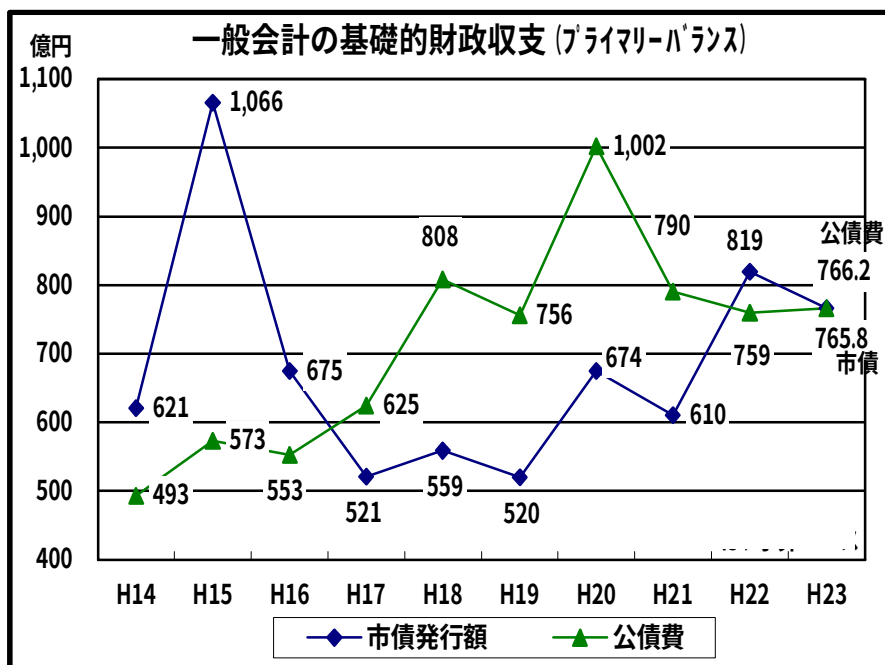
行財政改革による対応

	H24見込	H25見込	H26見込	H27見込
人件費の見直し	16	32	48	64
扶助費の見直し	4	6	7	8
投資的経費の見直し	10	10	10	10
その他経費の見直し	15	30	45	60
PRE戦略及び債権確保策の強化等による歳入の確保	15	20	20	20
行財政改革の目標額計 I	60	98	130	162

対策前の収支不足額 D-H-I	-259	-321	-351	-383
-----------------	------	------	------	------

平成23年度 一般会計のプライマリーバランス及び市債残高の推移

- 平成23年度では、基礎的財政収支（プライマリーバランス）の黒字を確保。
- 平成23年度予算での一般会計の市債残高は1兆円。
減債基金への積立額を控除した、実質的な市債残高は8,800億円。
- 資産マネジメントの推進や市債の適正な活用により将来負担の適切な管理を行う。



※平成21年度までは決算ベース、平成22年度及び23年度は予算ベース

～中長期的なまちづくりの方向性～ 4つの「～化」

(単位:百万円)

コンパクト化

主要駅を中心としたコンパクトなまちづくりを進めます

誰もが便利にかつ効率的に公共サービスを楽しむことができるよう、中長期的に既成市街地における都市機能を再編整備し、主要駅周辺に効率的に集約するとともに、そのアクセス向上に向けた取組などを進める。

23年度の実施 5,624

- ・武蔵小杉駅周辺の市街地再開発
- ・再開発事業への補助
- ・鉄道事業者と連携した保育所の整備
- ・中原図書館の再整備など

エコ化

環境技術を活かしたまちづくりを進めます

川崎の特徴を生かし、市内企業に蓄積された環境配慮型技術をまちづくりの中に取り入れ、まち全体が環境技術にあふれた国際社会のモデルとなるまち「川崎エコミュージアム」を目指した取組を進める。

23年度の実施 3,358

- ・スマートシティモデル事業の推進
- ・仮称かわさきエコ暮らし未来館の開設
- ・太陽光発電・電気自動車の導入など

長寿命化

公共施設の長寿命化の取組を進めます

中長期的かつ持続的なまちづくりを進めていくため、「かわさき資産マネジメントプラン」の考え方に基つき、財政負担の軽減と平準化を推進する観点から、定期的・計画的な予防保全型の維持補修を進める。

23年度の実施 10,846

- ・適切な道路維持補修事業の推進
- ・大規模施設の予防的維持補修の実施
(港湾振興会館、高津区役所、とどろきアリーナ、市役所第3庁舎、多摩区役所) など

ユニバーサル化

すべての人にやさしいまちづくりを進めます

これまで拠点駅や重点整備地区を中心に公共施設等のバリアフリー化を進めてきたが、この考え方を発展させ、高齢者や障害者をはじめ、「誰もが使いやすい」という視点でまちづくりを進める。

23年度の実施 2,963

- ・福祉製品におけるかわさき基準の推進
- ・向ヶ丘遊園駅連絡通路整備
- ・区役所のリフォーム
- ・学校へのエレベータ設置
- ・ノンステップバスの導入など

平成23年度予算における 経済・雇用対策への対応

平成20年10月に「川崎市緊急経済対策本部」を設置し、国の経済対策との整合を図るとともに、産業界などとも連携しながら、市内経済の安定化を図るため、引き続き企業支援、雇用対策に取り組めます。

中小企業等の活力向上 約324億円

中小企業融資制度の充実
(経営安定資金750億円融資枠確保など)
中小企業の経営支援等の充実
(ワンデイコンサルティングの充実など)

公共事業の早期発注 ・地域配慮 約508億円

早期発注等の取組の継続
(早期発注、市内中小企業への優先発注など)
工事費の確保

総額 約898億円

市民生活の安全安心 のための対策 約59億円

消費生活相談窓口の機能強化
就業支援の実施
(就業マッチング事業の継続実施など)
国の経済対策等と連携した取組
(住宅手当の支給等離職者支援の実施など)
緊急雇用対策
(重点分野雇用創出事業など)

地球環境保全基金を 活用した取組 約6億円

商店街街路灯LED化への支援
防犯灯LED化の推進
市内事業者へのエコ化支援
(太陽光発電設備設置工事等への支援)
特別養護老人ホームにおける省エネ設備等導入
こども文化センターでの地中熱を
利用した空調設備の整備

重点的・戦略的に取り組む施策の展開

人間都市かわさき

(単位:百万円)

【支え合いによる地域福祉社会づくり】

○ 高齢者の多様な居住環境の整備

・特別養護老人ホームの整備	2,279
23年度開所予定 2カ所 216床 (幸区南幸町地区、多摩区宿河原西地区)	
23年度増床予定 1カ所 100床 (幸区東小倉地区)	
24年度開所予定 3カ所 350床	
・介護老人保健施設	180
24年度開所予定 1カ所 120床	
・多様な居住空間の整備	3,901
小規模特別養護老人ホームの整備 など	
23年度開所予定 1カ所 29床 (幸区小向仲野地区)	

○ 拠点的な福祉施設の計画的な再編整備

・総合リハビリテーションセンターの整備 (中原区井田)	1,081
* 仮称中央療育センター(入所部分)の建設	
* 重度障害者等生活施設の建設	
・福祉センターの再編整備 (川崎区日進町)	51
仮称川崎区内複合福祉施設の実施設計等	

【総合的なこども支援】

○ 保育環境の整備

- ・仮称新・保育基本計画の推進 22,971
- ★保育受入枠の拡大 15,457人→16,878人 1,403人の増 (認可外保育施設含む。)
- * 認可保育所の整備(23年度完成予定)
 - 川崎区内 2カ所 210人 幸区内 3カ所 270人 中原区内 1カ所 135人
 - 高津区内 2カ所 210人※1カ所はH23.4開設・H23.10定員増 麻生区内 2カ所 210人
- * 民間事業者活用型保育所の整備(23年度完成予定) 14カ所 750人
- * 鉄道事業者活用型保育所の整備(23年度完成予定) 1カ所 60人
- ※公立保育所からの移行等もあるので、整備数と受入枠の拡大数は一致しない

○ 地域における子ども・子育て支援施策の推進

- ・地域子育て支援の推進 371
 - 地域子育て支援センターの拡充 48カ所→49カ所 など
- ・子宮頸がん予防、ヒブ及び小児用肺炎球菌ワクチン接種の実施 2,200
 - * 子宮頸がん予防ワクチン
 - 接種対象者 中学校1年生相当～高校1年生相当の女子
 - 接種回数 3回
 - 対象人数 約23,000人
 - * ヒブワクチン
 - 接種対象者 生後2か月～5歳未満の乳幼児
 - 接種回数 最大4回※接種開始年齢により異なる
 - 対象人数 約70,000人
 - * 小児用肺炎球菌ワクチン
 - 接種対象者 生後2か月～5歳未満の乳幼児
 - 接種回数 最大4回※接種開始年齢により異なる
 - 対象人数 約70,000人

○ 子どもの総合的な相談・支援機能の強化

- ・児童相談所、一時保護所、要保護児童施設の再編整備 850
児童相談所を市内3カ所体制に再編 など
こども家庭センター（幸区鹿島田） ※市内児童相談所の中核機関（中央児童相談所）として位置付ける
中部児童相談所（高津区末長）
北部児童相談所（多摩区生田）

○ 総合的な学校教育の推進

- ・新学習指導要領への対応 638
外国語指導助手（ALT）の配置 55人→62人 など
（H23年度からの小学校5・6年生における外国語活動の必修化に対応）
- ・特別支援教育の推進 196
小中学校への特別支援教育サポーターの配置 100人→110人 など

○ 教育環境の整備

- ・義務教育施設の整備 11,830
 - * 改築工事・・・百合丘小学校、上作延小学校 など
 - * 大規模改修工事・・・旭町小学校、大師小学校、東菅小学校 など
 - * 児童生徒急増対策・・・今井小学校増築工事、東門前小学校増築に向けた設計 など
上丸子小学校・大谷戸小学校改築に向けた設計 など
子母口小学校・東橘中学校合築整備に向けた設計
 - * 特別支援学校の整備・・・田島養護学校の再編整備に向けた実施設計（25年度完成予定）
聾学校・養護学校分教室の改修工事（23年度完成予定）
 - * 既存学校施設再生整備事業・・・西丸子小学校・久末小学校でモデル実施
既存学校施設の改修による再整備手法により、施設の長寿命化と環境対策を推進
（外壁補修、内部改修、エレベータ設置、省エネ型照明の設置等）

[安全・安心な地域環境の整備]

○ **危機管理・防災対策、建築物耐震化の推進**

- ・町内会・自治会会館耐震対策の推進 15
 - * 耐震診断士の派遣
 - * 耐震設計・改修工事への補助（設計費補助30万円（1/2補助）、工事費補助120万円（1/2補助））
- ・治水・雨水対策の推進 4,457
 - 東急田園都市線宮前平駅周辺の冠水対策（矢上川の改修整備） など

○ **地域防犯・安全対策の推進**

- ・地域の防犯対策の推進 402
 - 町内会等のLED防犯灯の設置促進 など
 - LED防犯灯 4万円（2/3補助）
 - ※インバーター式防犯灯 1万5千円（1/2補助）、従来型防犯灯 1万円（1/2補助）

○ **救急体制の強化と救急医療体制の整備**

- ・救急医療体制づくりの推進 1,186
 - 療養病床の確保 50床（川崎社会保険病院） など
- ・周産期医療対策の推進 205
 - 周産期医療ネットワークの推進 など
 - 日本医科大学武蔵小杉病院 NICU3床→6床 GCU6床→12床
- ・救急隊の増隊 24隊→25隊 221 など

○ **消防署所の整備と消防力の強化**

- ・消防署所の適正配置 18
 - 仮称栗木出張所新設に向けた設計

【環境配慮・循環型の地域社会づくり】

○ **カーボン・チャレンジ川崎エコ戦略（CCかわさき）**

- ・川崎の特徴・強みを活かした環境対策の推進 919
- 環境学習室「仮称かわさきエコ暮らし未来館」の開館（23年8月） など
- ・環境技術による国際貢献の推進 140
- ・多様な主体の協働によるCO₂削減の取組 2,299

○ **ごみ減量化と分別・リサイクルの推進**

- ・資源物の分別収集の推進 956
- * ミックスペーパー分別収集の全市実施（23年3月）
- * プラスチック製容器包装分別収集のモデル実施（23年3月 川崎区、幸区、中原区） など

【憩いとうるおいの環境づくり】

○ **魅力ある公園緑地の整備**

- ・大規模公園（富士見、等々力、生田）・周辺地区整備の推進 5,255
- * 富士見周辺地区 長方形競技場整備に向けた実施設計等
- * 等々力緑地・周辺地区 陸上競技場メインスタンド改築に向けた整備計画策定等
- * 生田緑地・周辺地区 東口ビクターセンターの整備（24年3月完成）等

○ **緑地保全施策の推進**

- ・農ある風景の保全 5
- かわさき里地・里山ミュージアム事業の推進
- （黒川・岡上・早野地区における農業振興と連携した施策の検討など）

【都市拠点・ネットワークの整備と川崎臨海部の再生】

○ 臨海部の国際競争拠点の形成と戦略的な土地利用の促進

・国際競争拠点の形成		7
「国際競争拠点形成戦略会議」の設置、戦略の立案等		
・殿町3丁目地区中核施設等の整備		2
中核施設間の連携方策の検討、新たな施設の立地誘導の検討		
●第1段階整備:「再生医療・新薬開発共同研究センター」(23年7月運用開始予定)		
iPS細胞を活用した再生医療の研究開発等(整備主体:財団法人実験動物中央研究所)		
●第2段階整備:「仮称産学公民連携研究センター」(25年1月運用開始予定)		
環境総合研究所、仮称健康安全研究センターの市施設ほか入居(整備主体:民間事業者)		
・港湾物流機能の強化		3,033
臨港道路東扇島水江町線の整備(事業期間H21~28 23年度は調査設計等)	など	

○ 都市拠点の整備

・川崎駅周辺地区	北口自由通路の整備に向けた施設設計等	743
・新川崎・鹿島田駅周辺地区	鹿島田跨線歩道橋の整備等	2,653
・小杉駅周辺地区	再開発事業への助成、道路等基盤整備等	6,401
・登戸・向ヶ丘遊園駅周辺地区	向ヶ丘遊園駅連絡通路の整備着手等	3,218

【川崎の活力を生み出す産業イノベーション】

○ 国際的視点に基づく産業振興

・上水道・工業用水道・下水道事業の国際展開		38
-----------------------	--	----

○ 環境・福祉・健康・医療分野における産業の振興

・ナノ・マイクロテクノロジーを核とした先端研究開発の推進	など	4,699
産学官共同研究施設の整備(24年3月 研究棟竣工	2階建 延床面積2,000m ²)	

安定持続都市かわさき

【経済・雇用対策】 総額 約898億円

○ 中小企業等の活力向上策

- ・中小企業融資制度の充実 32,411
経営安定資金融資 750億円の融資枠を確保
信用保証料補助の実施

○ 公共事業の早期発注及び地域配慮

- ・工事費の確保 50,833
工事費総額及び市内中小企業の受注に配慮した補修工事費の確保
・早期発注等の取組の継続

＊ 地域活性化交付金 (きめ細かな交付金・住民に光をそそぐ交付金) の活用

老朽化した道路照明灯の更新やDV対策・いじめ対策などの取組みの充実 (22年度補正予算)

○ 市民生活の安全安心のための対策

- ・消費生活相談窓口の機能強化 76
・就業支援の充実 34
総合相談窓口の拡充、就業マッチング事業の継続

＊ 緊急雇用対策

- ・雇用機会の創出 雇用創出 約550人 1,027

○ 地球環境保全基金を活用した取組～カーボンチャレンジ川崎エコ戦略～

- ・商店街街路灯のLED化などの支援 など 633

【川崎の魅力を育て発信する取組】

○ シティーセールスの推進と観光振興

- ・川崎・しんゆり芸術祭2011「アルテリッカしんゆり」の開催 (4/29～5/8) 15
- ・青少年科学館の改築 (23年度完成予定) 1,605
- ・東海道を活用したまちづくりの推進 25
- 仮称東海道まちづくり文化・交流拠点及び駐輪場との複合施設の設計

○ ホームタウンスポーツの振興

- ・JBVツアーオープン戦 (兼川崎市長杯) の開催 など 23
- (JOC認定競技別強化センター登録に向けた施設整備等も実施)
- その他、国際陸上競技大会 (仮称IAAFワールドチャレンジ大会) や
トランポリンワールドカップシリーズ川崎大会を開催

○ 藤子・F・不二雄ミュージアムの整備

- ・基盤整備や開館に向けた広報等の実施 (23年9月開館) 295

【市民自治と区役所機能の拡充】

○ 区役所機能の強化

- ・フロア案内の配置 21
- 各区の区民課フロアにフロア案内を配置
- ・区役所等庁舎の計画的・効率的な整備 543
- * 幸区役所庁舎整備に向けた設計 (26年度供用開始予定)
- * 川崎区役所道路公園センターの整備 (24年度供用開始予定)